

教職支援センター ニューズレター

巻頭言

教職支援センターが、本年4月1日に発足しました。

教職支援センターは、教職課程を有する5学部(人文学部, 理学部, 工学部, 農学部, 繊維学部)の教職教育の円滑な運営を図ること及び学校教育等の実践に関わる研究開発を推進することを通して、高度な教育実践力を有する教育専門職の養成に資することを目指して活動してまいります。「教職教育部門」「地域連携部門」「学芸員・理数系教員養成支援部門」の3部門で構成され、専任教員6名、特任教員5名、兼務教員5名が所属しています。

本学では全国の国立大学に先駆け、平成18年に全学教育機構に教職教育部を設置し、専門学部の特性を生かした「高度な専門性と豊かな人間性・社会性を備えた力量ある教員」の育成を展開し、多くの人材を全国の教育現場に輩出してきました。このたび教育に対する社会的要請に対応し、高度な教育実践力を有する教育専門職の養成する方策について学内で検討した結果、教職教育部を廃止し、新たに教職支援センターを設置し、事業を推進することとなりました。

本センターは、教職関係5学部を取り結ぶネットワークの結節点として、また、教員免許更新支援センターや教育学部など学内諸機関及び地域の教育関係諸機関との連携をはかることで、教育実践、教員養成及び現職教育などの事業に取り組んでいきます。

皆さまのご支援と本センター事業への積極的なご参画をお願い申し上げます。



センター長: 平野 吉直



【専任教員】

庄司 和史(特別支援教育)	田村 徳至(生徒指導・経済教育)
小山 茂喜(教育方法)	河野 桃子(教育哲学)
荒井英治郎(教育行政学)	神谷真由美(臨床心理学)

教職支援センター スタッフ

【特任教員】

千村 重平 (CST担当・理科)	西牧 守 (理学部・工学部担当・数学)
井出 忠臣 (工学部・繊維学部担当・理科)	下澤 秀夫 (理学部・農学部担当・理科)
百瀬 司郎 (松本キャンパス担当・社会)	

【兼務教員】

山本英二 (人文学部)
川村嘉春 (理学部)
中村正行 (工学部)
千 菊夫 (農学部)
田中稔久 (繊維学部)



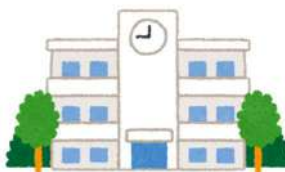
各部門より

教職教育部門



教職教育部門は、教職に関する科目等の開講など、各学部が開設する教職課程をサポートし、各学部と連携して教員免許状取得を目指す学生の様々な指導を行います。履修計画の作成や教職関連科目の履修上の相談、あるいは介護等体験や教育実習に関する相談には、専任教員と特任教員が当たります。また、教員採用試験対策では各都道府県の最新の傾向等をもとに個別に指導を行います。松本キャンパスのみならず、各学部キャンパスにおいても相談と指導を行い、入学時から免許状取得の卒業時までの一貫した指導で学生の教職の学びを援助します。(庄司)

地域連携部門



地域連携部門では、長野県教育委員会や長野県内の市町村教育委員会、そして、私立学校を含む地域の学校や教育機関等と連携し、大学における教員養成、現職教員の資質向上に資する教員研修、子どもの学習支援の充実に向けた活動を展開していきます。

地域における教育課題に真摯に向き合いながら、学校や教員が地域とどのように連携・協働していくべきか、そして、大学が地域と学校にどのような支援をしていくことができるか、信州のみならず全国的な事例の情報提供・共有も行っていけたらと考えています。(荒井)

博物館学芸員，CSTについて



○学芸員養成支援では、「博物館法」に定められた博物館で、専門分野の調査・研究、資料の収集・整理・保管・展示、利用者へのアドバイス、地域住民に対する社会教育・生涯学習の指導・助言等の業務に携わる専門的職員である学芸員資格を取得するための授業(含実習)の開講等について、地域の関連機関と協力しながら支援を行っています。対象学部は、人文学部・理学部・工学部です。

○理数系教員養成支援では、信州大学と長野県教育委員会が連携し専門学部の特性を生かした高度な専門性と、豊かな実践力を備え優れた教育実践を行い、小学校あるいは中学校で理科教育を推進する上で中核的な役割を担う教員の養成支援を行っています。初級CST養成プログラムで必要単位を取得した後、模擬授業等の認定試験に合格すると初級CST(コア・サイエンス・ティーチャー)として認定されます。対象学部は、理学部・工学部・農学部・繊維学部です。(小山)

おもな年間事業

教職教育部の年間スケジュール

4月から翌年3月まで専任教員と特任教員がそれぞれ教職に関する授業・講座を実施しています。専任教員、特任教員ともに各地学部への授業と随時、教職に関する相談も実施しています。(田村)

～平成28年度の主な年間予定～

	専任教員(6名)	特任教員(5名)
4月	教職ガイダンス(新入生向け) 教育実習事前指導(4年生向け) 介護等体験事前・事後指導	教員採用1次試験対策講座(4年生向け) 7月中旬まで
5月	通常授業	
6月		
7月		教員採用2次試験対策講座(4年生向け)
8月	集中講義	
9月	集中講義	
10月		教員採用試験対策基本講座(3年生向け)
11月	通常授業	
12月		
1月		
2月	集中講義、介護等体験事前・事後指導 教職初年次ガイダンス(1年生向け)	
3月		

教職セミナー

教職教育部では、毎年、教職課程を履修する1年生を対象にした教職セミナーを開催しています。この教職セミナーでは5学部を卒業後、教員として働いているOB・OGを招いて、教員を目指した理由や大学時代の生活、教員になってからの日常について話してもらっています。

平成27年度は、平成26年度に農学部を卒業した南安曇農業高等学校の小森彩加先生に来ていただき、12月8日に教職セミナーを開催しました。参加した学生達にとっては、普段はなかなか聞くことができない現職教員の話聞くことができました。特に、つい最近まで自分たちと同じ大学生だった先輩の話聞くことで、自分のキャリアについて考える機会になったようです。(神谷)

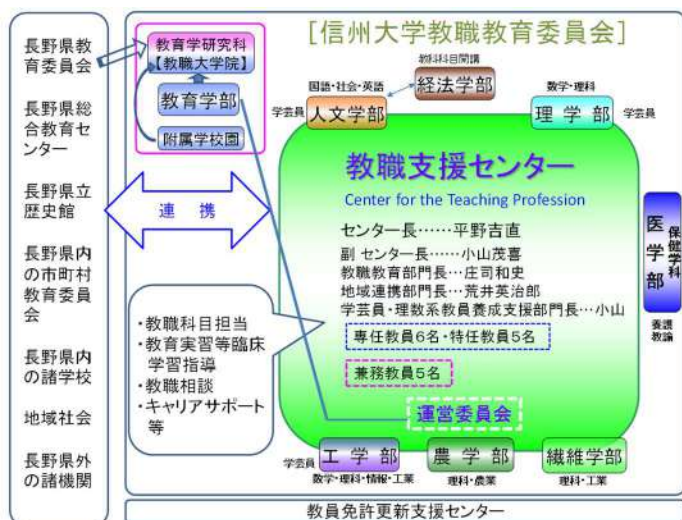


各学部における高年次対象の 教職ガイダンスでのお願い



4月には、各学部において各学年対象の教職ガイダンスが実施されることと思います。教職に関する授業や教職相談の中で今後の学習の進め方などを説明していますが、とくに高年次生は学部学科によって必須の科目や単位修得方法が異なっておりますので、①各学年とも便覧を確認するように徹底してください。②3年次生は教育実習の実習校の決定にかかわる手続きを確認してください。28年度に介護等体験を行う学生については、4月の締め切り日までに③確実に介護等体験の申し込みをするように指示してください。2月に事前指導を各学部で行いましたが、この授業を欠席した学生は、担当の庄司に必ず連絡をするように伝えてください。また、28年度に教育実習を行う学生は、4月に3週にわたって行われる④教育実習事前指導の授業に必ず出席することが必要です。介護等体験と教育実習においては、⑤はしかの抗体検査を受ける必要がありますので、医療機関で早めに受検することを繰り返し指示してください。何かありましたら、教職支援センターまでご連絡ください。(庄司)

教職支援センター全体像



発足式にて



(後列左より)、下澤、西牧、百瀬、井出、田村、荒井、千村、前列左より、河野、神谷、平野、小山、庄司(敬称略)

編集後記

教職支援センターの発足をきっかけに、ニューズレターを発行することになりました。第1号では事業やスタッフの紹介が中心となりましたが、次号からは、イベントや勉強会の情報などを盛り込み、さらに充実させていく予定です。よろしくお願ひいたします。(河野)



信州大学 教職支援センター
SHINSHU UNIVERSITY Center for the Teaching Profession



〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 ■TEL: 0263-37-3367 ■MAIL: kyousho@shinshu-u.ac.jp
■URL: <http://kyoushoku.shinshu-u.ac.jp/kyoushoku/kyoushokutop.html>